



3月19、20、21日に篠ノ井支所前と更北支所前において、3日間、東北地方太平洋沖地震と長野県北部地震への支援物資受入と義捐金の募金運動を先輩方のアドバイスを頂きながら、また共催の団体のご支援を頂きながら開催しました。

お年寄りからお子様まで足を運んでいただき、予想を超える多くの支援物資と義捐金を集めることができましたし、また、市民の意識の高さに感動しました。

ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。



大槻町災害支援ボランティア活動報告

6月11日(土)、12日(日)と岩手県大槌町に社会福祉協議会の災害支援ボランティアに行きまわりました。6月10日(金)の夜より現地に向かい、翌11日(土)の朝方に被災地に到着しました。

大槌川河川敷瓦礫撤去活動(1日目)

6月11日(土)

作業初日は朝からあいにくの雨模様となりました。ボランティアセンターにて受付を済ませ作業内容と注意事項の説明を受け作業を開始です。今日は大槌川河川敷での瓦礫や枝木の撤去清掃作業をさせていただきました。河川には自転車や屋根瓦、日常雑貨などありとあらゆるものが大量に流れついている瓦礫をスコップや手で集めそれを1箇所に集め、またその先の瓦礫を集め別の山を作っていくという作業です。我々も含めボランティアに参加している人全員がもとの大槌川に戻そうと黙々と作業をしました。人手のかかる地道な作業ですが、あまりに瓦礫の量があるのでみるみるきれいになっていきます。

この河川敷は「菜の花プロジェクト」というプロジェクトの計画地にもなっていて、きれいになったいつの日にかこの河川敷に菜の花でいっぱいになるとのことでした。いつの日か菜の花で埋め尽くされる大槌川にしようという一心で作業をさせていただきました。

また、この日は震災よりちょうど3か月ということもあり、地震が起きた2時46分にサイレンが鳴り、途中作業をやめ、全員が黙祷を捧げさせてもらいました。亡くなられた方々に慎んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された地域の方々に心よりお見舞いを申し上げます。



浸水家屋畳撤去・公園内瓦礫撤去活動(2日目)

6月12日(日)



今日は前日までの雨とは違って、晴れとなりました。前日と同じようにボランティアセンターにて受付を済ませ今日の作業と注意事項の説明を受け作業を開始です。まずは浸水した地域の畳の撤去をしました。この地域は津波で家が流されるなどの被害ではなかったが浸水はしてしまった地域です。現場に着くとすでに家屋から運び出されて、山積みしてある畳が何十枚も置いてありました。来る途中にもいろいろと屋外に野積みしてあるものがあつたので、ボランティアセンターの係員に尋ねると要請がないので勝手に撤去はできないとのことでした。衛生的にも撤去したいところでしたが勝手にやるわけにもいかないので、指示された作業をまずはこなします。1トント車で2往復し、やっとその一角の処理を午前を終えました。

午後からはボランティアセンター近くの小さな公園の瓦礫撤去をしました。流されてきた瓦礫がフェンスで堰き止められ山のようにになっています。バッグや雑誌といった雑貨類から、テレビ、病院から流れてきたと思われるレントゲン写真、さらにはコンクリートがついた一人では持ち上げることもできない外壁まで。ありとあらゆるものが山積みしていました。午後の作業時間といっても2時間ほどしかないので、全員で急ピッチで公園を清掃し、何とか時間ぎりぎりまでかかり、公園をひととおり片づけることができました。最後に処分場までゴミを運び込み、2日目の作業が終了しました。

今回、2日間だけボランティアに参加しました。自分たちに出来たことは復興に向けた作業のほんとはほんとはごくわずかの作業でもどかしい気持ちも残ります。しかし、現地に行くことができなかった自分たちの地域でも出来る支援はいろいろあります。時間はかかると思いますが、今、私たち青年会議所に来ることをしっかりと行い、みんなで力を合わせ被災された方々をささえていきたいと思っています。

いつの日か菜の花があふれる大槌川と活気あふれる大槌町になることを願っています。

編集後記

太平洋沖地震と長野県北部地震など予想だになかった大災害が起こり、当LOMでも支援活動や周年に向けた事業の開催などあつという週の半年でした。

紙面を通じて振り返ると、改めて半分が過ぎ再スタートだと気が引き締まりました。引き続き紙面の充実にも努め、より分かりやすく活動内容をご紹介します。宜しくお願い致します。

総務渉外委員会 倉嶋 輝行



南長野青年会議所
創立50周年・認承40周年
記念式典
8月27日(土)
in
信州松代ロイヤルホテル

温故知新 ONKOCHISHIN 南長野JCって!?

ENTRY-No.04

1983年度 5月5日

第1回恐竜祭り



今年、久しぶりに復活をとげた恐竜祭り。第1回目は、今から28年前の事。当時は、恐竜の歌の作成やワッペンシールなど、盛り上がりを感じました。そういえば、自分が子供のころに、恐竜公園のシールがあったような…南長野からも今の子供たちの記憶に残る活動を考えたい…と改めて感じました。



2011年度スローガン

善の循環で事を成す

かがり火を胸に未来を照らす源となれ

Vol.2

発行責任者: 2011年度(社)南長野青年会議所・総務渉外委員会

発行: 平成23年7月

創立50周年・認承40周年 記念事業

岡田武史氏記念講演会

創立50周年・認承40周年の記念事業としてサッカー日本代表前監督岡田武史氏による講演会を篠ノ井市民会館で開催いたしました。

講演会に参加された方には、今必要とされているリーダーシップとはどのような事かを考えて頂くきっかけになったのではないのでしょうか。自分から発する言葉の重さや責任、子供への指導の仕方などの講演は来場者全ての皆様に当てはまる内容だったように感じます。

今回の講演会には4つの目的を掲げおこなってまいりました。親御様や指導者に対する子供への青少年育成、障害者団体やAC長野パルセイロの関わりを通じた南長野青年会議所活動PR、多くの長野市民が篠ノ井市民会館に訪れる事で、今後篠ノ井の地に訪れるきっかけを創る地域活性、東日本大震災被災地への義捐金活動。南長野青年会議所が一体となり上記の4つの目的は達成されたと思います。

この講演会の企画段階に際し、東日本大震災が起こり一時は講演を中止する方向に動きましたが、理事長の



強い意志により中止することなく実行されました。「自粛でなく実行する事が地域を活性化し、長野を元気にする事ができる、そして被災地にも思いや元気が届く」こういう支援の仕方があるという事を学びました。講演会で岡田氏が言っていた「能書きはいいから、ともかく一歩踏み出して、どんなことでもいいから目標を作ってチャレンジしてみる」「少々壁があろうがそんなもの関係ない。必ず乗り越えられる。壁というのは邪魔するためにあるのではなく、「おまえは本気でやっているのか」と自分の気持ちを確認されているのだ」との言葉は大変共感が得られたと思います。ご参加頂きました皆様に感謝と御礼を申し上げます。



竹村理事長・岡田武史氏



温故知新 ONKOCHISHIN 南長野JCって!?

ENTRY-No.03

1988年度 6月例会

世界のNAGANOに向けて



1998年この年の長野市最大のイベント『長野冬季オリンピック』が開催され我々は大きな感動をいただきました。この感動があるのは、開催年から遡る事10年も前から我々南長野JCの先輩方が「長野にオリンピックを…」と招致署名運動をしていただき実現したものであります。キャッチフレーズは、『手をつなぎ長野に呼ぼう冬季五輪』。

今しか会えない仲間がいる
今しかできないことがある

会員募集コーナー!

南長野青年会議所は、
新しい仲間を募集しております!

お問い合わせ先: 南長野青年会議所事務局

☎026-292-2310 E-mail: minaminaganojc@mtg.biglobe.ne.jp

2月
例会

企業は人をもって基となす

2月15日(火) JAグリーンパレス

会員指導力委員会

2月15日(火) JAグリーンパレスにて2月例会「企業は人をもって基となす」を開催いたしました。今例会は講師に「あそび心研究所代表小林亜希子様」をお迎えし「社員のやる気を引き出す」「組織のモチベーションアップ」など企業・組織内の「人材」に対しどのように接し、どのように導けるかに焦点を当てました。



2011年度
会員指導力委員会
委員長
野口 鉄也

一般参加者を含め参加員数は80名を超え、体感型のセミナーを取り入れながらチームワークを学び、真剣さと楽しさ、笑い声と歓声そして感動を実感できたセミナーとなりました。小林亜希子先生はじめ、参加者の方々に感謝と御礼を申し上げます。



講師
あそび心研究所代表 小林 亜希子 様

3月
例会

AC長野パルセイロとサッカーゲーム・夢はJリーグ

3月5日(土) 南長野運動公園・総合球技場

青少年委員会

3月5日(土) 南長野運動公園・総合球技場にて3月例会「AC長野パルセイロとサッカーゲーム・夢はJリーグ」を小学生中心とした一般参加者含め76名の参加者とAC長野パルセイロの協力により開催致しました。サッカーゲームを通じて子ども達にコミュニケーションを取る事の大切さや、「おもいやり」の心を持ってもらう事、夢を思い描いてもらう事を目的とした青少年育成事業となりました。8チーム12人に分かれAC長野パルセイロの選手、参加者、当青年会議所会員が入った混成チームでの対戦で、パイロンスラローム、的倒しゲーム、キックゲームの3ゲームが行なわれました。子供達はしだいに打ちとけ真剣にボールを追いかける姿や大勢の笑顔が見受けられました。皆様のご協力により無事に終えられた事に感謝申し上げ、今後の青少年育成に繋げて参ります。ありがとう御座いました。



2011年度
青少年委員会
委員長
松本 章

わんぱく相撲 長野場所

5月29日(日) 南長野運動公園 相撲場



小学生たちの取り組み

5月29日(日) わんぱく相撲長野場所が南長野運動公園相撲場にて開催されました。この大会は7月31日に行われるわんぱく相撲全国大会の予選会となる重要な大会です。当初震災や、相撲界の不祥事で開催が危ぶまれましたが子ども達の夢をあきらめさせないと言う事で開催する運びとなりました。

1年生から6年生の男女合わせて115人の参加があり大変盛り上がりのある大会となりました。取組が始まり女の子が男の子を負かしたり、体格の大きい相手を負かす場面や、大技が出た時には歓声が上がり会場内は盛り上がった雰囲気に包まれました。その中でも取組みに勝ち笑顔で喜ぶ子がいる反面、負けて泣きだしてしまう子がいて私達も切ない思いを感じる事が出来ました。

取組は各学年別のトーナメント戦で行なわれ6年生は八木晃人君が3年連続優勝、5年生は横田柊兵君、4年生は葛原優来さんが優勝しました。4年生以上の優勝者は全国大会へ進むのですが、両国国技館の土俵には女の子は上がれないため、丸山航汰君が選考されました。

3年生渡辺溪叶君、2年生古藤駿君、1年生宮下歩君が優勝、団体戦では朝陽小学校が優勝しました。参加して頂きありがとうございました。また全国大会の出場者には大いに頑張ってもらいたいと思います。

4月
例会

歴史を知り、未来を創る

4月15日(金) 長野商工会議所篠ノ井支部2F

未来ビジョン委員会

4月15日(金) 長野商工会議所篠ノ井支部2Fにて4月例会「歴史を知り、未来を創る」を開催しました。創立50周年・認承40周年を迎える本年、我々はなぜ今存在し得ているのか、そして我々はいかに40周年を迎えるべきか、メンバー全員の意思統一が必要でした。南長野青年会議所の50年に渡る歴史を詳細に紐解き、節目となる歴代理事長様にインタビューを行い、当時の想いをメンバー全員に届けると同時に「南長野30周年宣言」の最終検証を行うものでした。

今回の「南長野30周年宣言」最終検証を通して見えてきたことは、理事長所信や副理事長所信、委員長所信を通し間接的に理解し、行動してきたということです。

「南長野30周年宣言」がいかに普遍的で、時代を超越し、これから10年20年先も変える必要がない長期的ビジョンの宣言だったのかと思います。しかし今回の大震災の発生に伴い、少なくとも長期的ビジョンとは別に、5年、10年先の中長期的ビジョンが必要ではないのかと思うようになりました。まさに50周年に向けた宣言が必要であると思います。



戦後、「復興」のためにと立ち上がった青年会議所の志のように、私たちは地域を越えた新たな日本復興に向け、10年先を見据えた宣言文を出す必要があるという考えにいたりました。

そして今回、歴史を振り返り、先輩方の生の声を聞く中で見えてきたことは、南長野青年会議所の存在そのものが、いかに危うい存在であったのかいうことでした。先輩方の努力、協力によって、今の私達は存在しているということです。

このことをメンバーの皆様が理解し、先輩方、関係諸団体そして地域市民に感謝する為の場として、私達は創立50周年・認承40周年を迎えたいと思います。



記念式典に向けて50年の歴史を勉強



2011年度
未来ビジョン委員会
委員長
月津 洋一

5月
例会

茶臼山フェスティバル 恐竜だよ！全員集合

5月15日(日) 茶臼山恐竜公園

社会開発委員会

5月15日(日) 茶臼山恐竜公園において5月例会「茶臼山フェスティバル 恐竜だよ！全員集合」を開催いたしました。

当日は、天候もよく来園者の数も増えどのイベントも多くの参加者で賑わいました。川中島陣太鼓の演奏や信州観光キャンペーンのキャラクターのアルクマもセレモニーを盛り上げていただき、恐竜塗り替えぬりえコンテストでは、約500枚ぬりえ作品が集まり、30メートルの流しそうめんでは、約700名分のそうめんを流し楽しんでいただくことができました。他にも宝さがし、フォトラリー、植樹、自然観察といった自然と触れ合うイベントなど、たくさんの笑顔の子供達を見ることができました。



1日を通して多くの方々に恐竜と自然に触れて茶臼山恐竜公園を満喫していただき公園の良さをPRできたと思います。

また、東日本大震災及び、長野県北部地震の義捐金募金活動に28,912円の義捐金が集まりました。皆様のご協力ありがとうございました。最後に今回、フェスティバルに参加して頂きました皆さま、本当にありがとうございました。



茶臼山フェスティバル 集合写真



2011年度
社会開発委員会
委員長
三好 誠